

令和6年3月22日

足立区立湊江小学校
学校長 向山 敦子 様

足立区立湊江小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 大西 るり子

令和5年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

学校は「学力向上」「健康な心身の育成」において計画を立て子供たちのことを考え、丁寧に指導を進めている。子供たちは個性を伸ばし楽しく過ごしているのがうかがえる。「笑顔あふれる湊江小学校」の目標のもと協議会としても引き続き「湊江の子供たちのため」に学校、保護者と連携協力していきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

子供たちの基本的・基礎的な学習の定着のため取り組みがなされ、ほぼ目標に達成している。個別指導にも力を入れ成果が出て子供たちの自信にもなっている。一方で新規に計画した読書活動は達成率が目標に届かなかった。読書通帳の点検が難しいとの事だが保護者への周知、協力も必要だと思う。読解力は確実に学力向上の一因となっているので引き続き取り組みの充実をお願いしたい。

【健康な心身の育成】

学校は「当たり前なことを当たり前にする」ことを大切に、様々な取り組みをしている。「挨拶をする」「返事をする」「靴を揃える」「校帽を忘れない」などの取り組みは当たり前なことだが大切なことである。日々の取り組みが生活面で良い結果となり子供たちの落ち着きにもつながっている。

挨拶・規範意識については学校評価アンケートでは81.6%が肯定的であったが、学校は「挨拶」について今後も重点課題としている。定着には学校だけではなく家庭をはじめ地域の協力も必要である。協議会としても挨拶の素晴らしさを伝えたい。

体力面では全校年間を通した取り組みで着実に向上している。中休みの外遊びやふちえパークの実施など日々の取り組みを今後も続けていただきたい。

【家庭・地域との連携】

子供の成長には家庭での生活習慣、学習習慣が重要だと感じる。引き続き発信をお願いしたい。

学校評価アンケートは保護者が学校への意見や提案を伝えやすく、また学校の分析、返信も丁寧に指導方針が明確に伝わってくる。

「花いっぱい活動」では子供たちと一緒に協議会も参加し、今年度も優秀賞をいただいた。今後保護者にもボランティアを募ることなども考え、つながりが持てればと思う。

新型コロナウイルス感染症が5類となり、以前のような活動ができるようになった。学校も地域との交流を活発にしている。子供たちは地域や外部機関と多角的な関りを積極的に作ることで新しい体験や価値観を学び視野が広がられている。協議会としても協力していきたい。

3. その他

展示会は子供たちの想いがあふれた作品の数々で感動を覚えた。

地域の祭りやクリーン作戦の参加、伝統である「落語・俳句・将棋・百人一首」など勉強や運動以外でも児童が活躍できる場ができるよう地域として協力したい。